

スッポンMPX (SDR-11)

65 施工手順

K寸メジャー
標線位置



注意

- ・ ストップリング内面は素手で触ると危険ですので十分注意して下さい。
- ・ 必ず施工手順を守り、施工して下さい。
施工手順を守らない場合、漏水等事故の危険性があります。
- ・ パイプが扁平して適用管外径より大きくなっている場合は、補正してから挿入して下さい。
- ・ 手順とは違い、ストップリングを先に本締めした場合、締付トルクが高くなります。

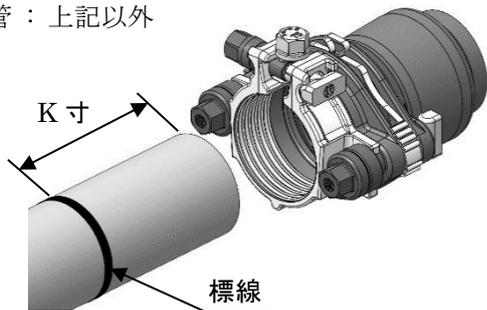
① パイプ挿入量記入

パイプ挿入量 (K 寸) を測り、**標線**を記入して下さい。

〔パイプ切断のカエリは取り除いて下さい。
滑剤の塗布は不要です。〕

継手：MPX-MP-P、MPX-MP-V、MPX-MP-D、MPX-MP-CAP II

異形管：上記以外



□ K寸の表と締付状態・ボルトサイズ

呼び径	K (mm)		締付状態 (参考締付トルク N・m)		ボルトサイズ 押輪・ストップリング
	継手	異形管	押輪	ストップリング	
65	120 ⁺⁵ ₋₀	135 ⁺⁵ ₋₀	35~45	当て締め (20~50)	M16

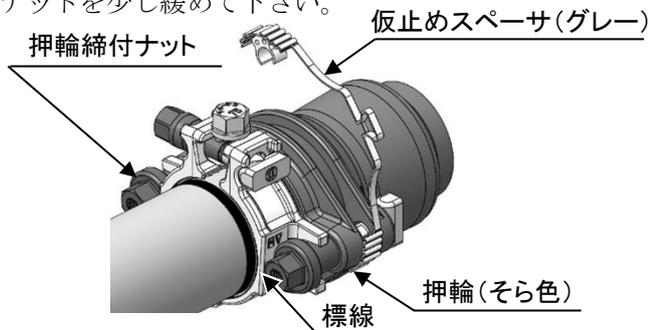
太字：基準値

※低温時は締付トルクが高くなります。

② パイプ挿入

分解せずに継手を**標線**まで入れ、**仮止めスペーサ**を取り外します。

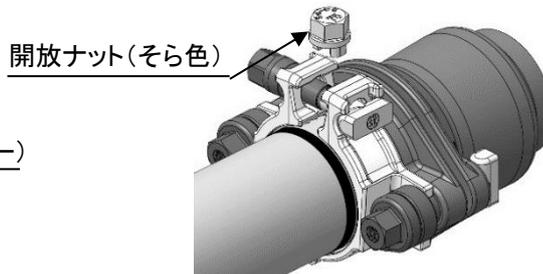
- ・ 仮止めスペーサが外れにくい場合は押輪締付ナットを少し緩めて下さい。



④ 開放ナット取り外し

開放ナットを取り外します。

- ・ 開放ナットの外し方は、開放ナットを「S」の方向(左回り)に回して取り外して下さい。



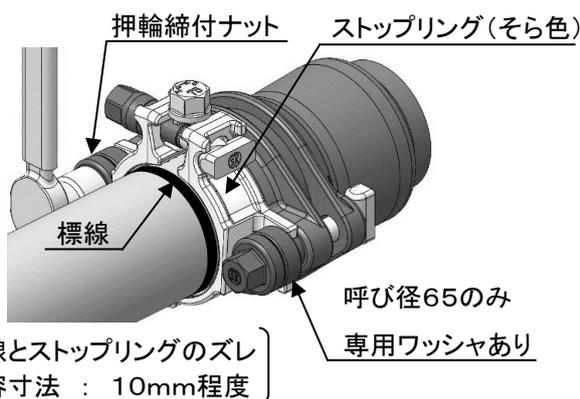
⑤ ストップリング仮締め

ストップリング締付ボルトのガタツキがなくなるまで締付ナットを手締めして下さい。

③ 押輪本締め

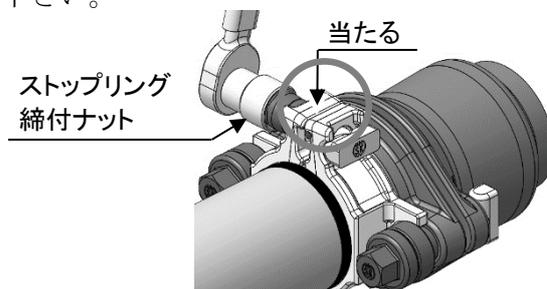
ストップリングは押輪と接した状態で**標線**と合わせ、押輪締付ナットを数回にわたり**均等に本締め**して下さい。

※「K寸の表と締付状態・ボルトサイズ」参照



⑥ ストップリング本締め

ストップリング先端が**当たる**まで締付ナットを**本締め**して下さい。



5

10

15

20

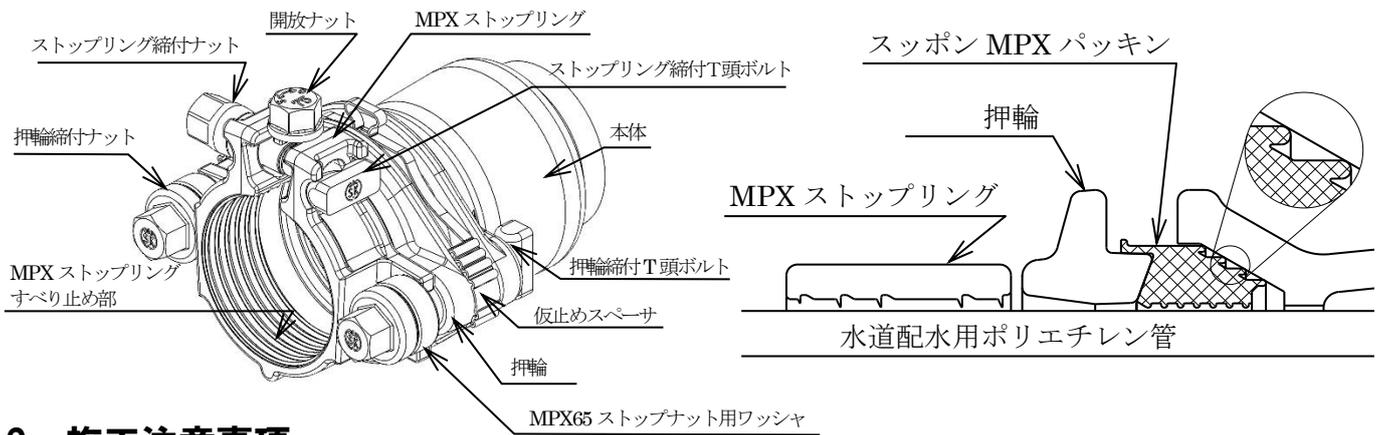
[cm]

25

(管端側)

28

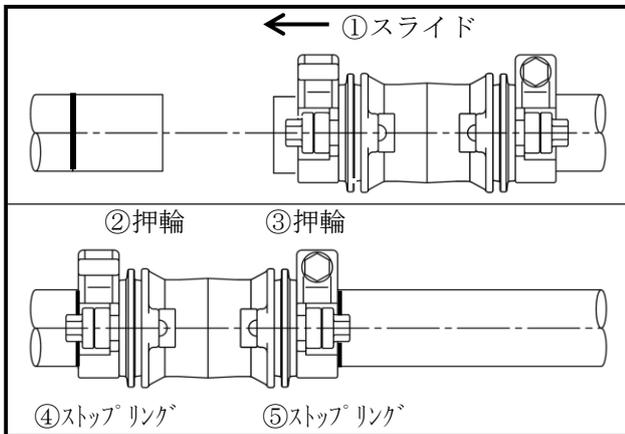
1. スッポンMPXの各部名称



2. 施工注意事項

● 管挿入時

- 1) 直線管路に施工する場合は、あらかじめ両側受口に管を挿入した後に、両側の押輪を締め付け、最後に両側ストップリングを締め付けるという順番で施工することで、施工しやすくなります。



● 押輪締め付時

- 1) インパクトレンチにて施工される場合は、対角の押輪締付ナットを交互に均等になるように締め付けて下さい。

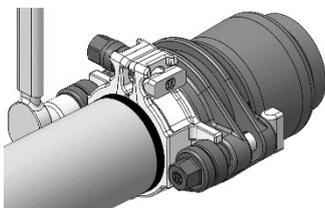
● ストップリング締め付時

- 1) インパクトレンチを使用する場合は、ストップリングが管に仮固定するまで手締めなどで締め付けてから使用して下さい。
- 2) 伏せ越しなどの場合、ストップリングを分解しなくてもストップリング締付 T 頭ボルト・ナットの向きを変えるだけで対応できます。
- 3) ストップリング本締め時、早く締め付けるとトルクが高くなります。(1ストローク 1秒程度が目安)

3. 開放ナット使用手順

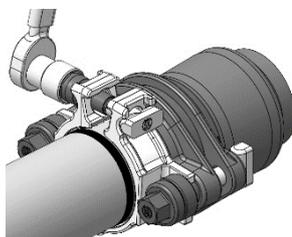
① 押輪を緩める

押輪を緩めて下さい。



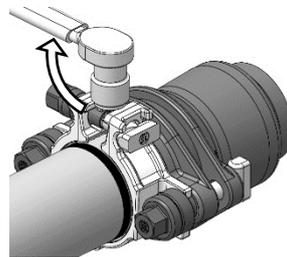
② ストップリングを緩める

ストップリングを分解しない程度まで緩めて下さい。



③ 開放ナットの取り付け

開放ナットを挿入し、開放ナットを「O」の方向(右回り)に 90° 回して下さい。



④ パイプの開放

パイプを外して下さい。

